

## 「出前授業」で理科の楽しさを

# 東大生らのNPO発足

「天文学や物理学の最先端授業を出前します」

——。若い世代の理科離れに歯止めをかけようと、東京大学の学生らが中心となって特定非営利活動法人（NPO法人）

「サイエンス・ステーション」を発足させた。

天文学や物理学、地球物理学などを専攻する学生や大学院生ら約30人でスタートした。その多くは、東京大の木曾観測所

（長野県）で開かれている高校生対象の体験型教室

「銀河学校」の同窓生だ。高校への出前授業のほか、実験や観測を中心としたセミナーなどを計画中。理事を務める藤原英

明さん（21）＝東京大理学部天文学科4年＝は「高校2年のときに参加した銀河学校は、進路を決める上で大きな刺激になった。研究者の活動を疑似体験し、科学の楽しさと厳しさを実感できる企画を考えたい」と話す。

連絡先は、理事長の吉井譲・東京大教授（04 22・34・5027）。